

いっしょに NEWS

vol.2
June 20 2014



●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<http://www.hino2.net/>

「そなえよつねに」でもっとも大切なこと、それは「良い、楽しいチームワークづくり」



もうすぐ夏休みです。夏休みと言えば、「楽しい夏キャンプ」ですね。今回は、夏キャンプに向けて最も大切な私たちのモットー「そなえよつねに、いつも元気、なかよし」について、私の考えを話したいと思います。

先ずボーイスカウト部門以上のモットーである「そなえよつねに」のように、夏キャンプに向けて、スカウトの皆さん「準備万端ですか」。

キャンプで大切なことは、先ず①**住むところを安全で衛生的な場所を確保すること**ですね。雨が降っても流されることがなく、また非難場所も決めておく必要がありますね。当然テントを立てる場所があって、平らにして石なども取って水はけも良くしておく必要があります。この練習は何回も日野の山で練習しておくことが大切です。みなさん、OKですか。

同じように大切なことは、②**おいしい食事を作れること**です。衛生的でなければなりませんね。キャンプが好きな人はみんな良いコックさんが多いです。みなさんは良いコックさんですか。是非、保護者の方も家でスカウトに料理のお手伝いをさせて下さい。これは、スカウト達がキャンプを楽しむための秘訣です。お願いします。

また更に大切なことは、③**健康**です。或いは体力です。普段からよく食べ、良く眠り、自分の健康と体力を強くする努力をしましょう。これはカブスカウトの「いつも元気」です。

私がスカウトだった時は、テントを立てることは自信がありました。料理はそこそこでした。でも同い年のスカウト(カブからずーと一緒に仲良し)は料理が得意です。自分をシェフと言っていました。シェフとのキャンプは楽しかったですね。今でも彼とは付き合っています。

以上の3点はとっても大切なキャンプ技能です。でもスカウト活動では技能だけでは本当に楽しいキャンプは出来ないことを十分に認識しています。「そなえよつねに」のモットーでももちろん技能だけで充分とは思っていません。

「おきて」には友情にあつい、親切である、感謝の心をもつ。また、「さだめ」にはたがいに助けあいます、おさないものをいたわります。とあります。これらは自分以外のひととの関係を大切にしましょうと言っています。

技能は自分自身に身につけることですが、これらの「おきて」や「さだめ」は友達との、仲間との関係を大切にしましょう。そして、あなたが身につけた技能は「いつも他の人々を助けるために使います」と私たちは誓っていますよ。

班(組)には新人と班長(組長)や次長のように何回もキャンプ経験のあるスカウトと一緒に生活をします。本当に楽しいスカウトキャンプは、幼いスカウトを皆で助けながら、チームワーク良く活動することです。ビーバーの「なかよく」ですね。技能もあり体力もある本当に強いスカウトは、技能や体力が未だ弱いスカウトを助け、笑顔が絶えないスカウトですね。

スカウトの皆さん、夏キャンプに向けてキャンプ技能を身につけると同時に班(組)のチームワークを「特におさないものをいたわります」を班長(組長)、次長は心に刻み、準備万端、楽しい夏キャンプを迎えましょう。そして、心から自然に、仲間へ感謝しながら活動をしていきましょう。



平成26年5月末日
日野第2団 副団委員長
鈴木 英彦



5月18日に、快晴で暑い中でさつき祭がおこなわれました。今年は、高幡教会初代主任司祭のロワゼール神父様も来られ、八王子教会の森神父様と教会学校の方々も参加して、ミサ(写真1、写真2)と模擬店が行われました。

例年は野外ミサでしたが、今回はミサ会場に幼稚園の講堂をお貸下さったので暑さ対策は不要でしたね。ボーイスカウト、ガールスカウトも参加して、講堂も満員御礼状態でした。家族が皆集まった感じです。

さて、さつき祭は39回目との事です。高幡教会の守護聖人(教会を守って下さる聖人)は「さつきのマリア様」です。そして、5月はマリア様の月です。また、模擬店を行って近所の方々、お友達を呼んで、皆で楽しい一時を共有しようとの思いが有ってさつき祭が開催されたと聞いています。

ボーイスカウトとガールスカウトも家族に一員として、マーキーテントの設営や模擬店出店など、それぞれが家族の一員として活躍いただきました。

高幡教会が設立したのは1970年です。同じ年にボーイスカウトもガールスカウトも誕生しています。誕生から44年間、メルセス会の裏山を自由に利用できて、スカウト広場もお貸いただいています。シスターの方々や高幡教会の方々、歴代の神父様方には大変

感謝しています。

母であるメルセス会日野修道院と父である高幡教会が無ければ、BS日野2団もGS東京77団も誕生していません。これからも、このことは忘れずに感謝の内に活動していきます。

活動

かつどうだより

便り

さて、各隊の模擬店は好評でしたか。焼きそばも何時もの通り美味しいですね。(写真3)カブ隊のフライドポテトも2個も食べました。(写真4)

ベンチャー隊の保存食販売は如何でしたか。炎天下の中で暑そうな2人ですがチームワークは抜群でした。ターフを張ったらしいのにな。それとも日焼けが好きなのかな。(写真5)



写真4



写真3



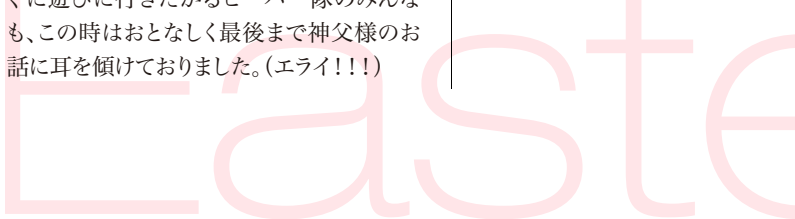
写真5



長い冬が終わり、暖かな春の風がやっと感じられるようになった4月20日、復活祭が行われました。

「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」に行われるこの行事に、ボーイスカウト・ガールスカウトも参列し、高木神父様のお話をうかがいました。普段は元気いっぱいですがすぐに遊びに行きたがるビーバー隊のみんなも、この時はおとなしく最後まで神父様のお話を耳を傾けておりました。(エライ!!!)

またこの復活祭の中では、洗礼式が行われ宮さん一家が家族全員洗礼を受けました。厳かな雰囲気の中、頭に聖水をかけるなど一連の儀式を一緒に見守っていると、こちらの心も清らくなった気がします。宮さんおめでとうございます。



仮キャンプ

カブ隊長 辻 剛

カブ隊では5/31(土)~6/1(日)にかけ、スカウトハウスで「仮キャンプ」を行いました。昔から「仮」キャンプと云ってます。なぜ、「仮」キャンプというのか?という、夏のカブ隊舎営にむけての準備だからです。

夏の舎営はいつもと違う少し遠いところ行って、3泊4日の共同生活を送ります。中には、初めて親もとを離れ、仲間と共に生活を体験するスカウトも居ます。すると、とにかくいろんなことが起こります。親もとを離れる寂しさからホームシックになったり、仲間との小さいいざごはしょっちゅう、健康面への配慮や、食事に対するアレルギーなど、気を配るべきところはたくさんあります。

それぞれのスカウトにそれぞれの目標もあります。うさぎ(3年)スカウトは、組のメンバーと協力して時間を守ったり、時間を守るために個人装備のまとめ方を学んだりします。初めての舎営生活ですから、勝手がわからず苦労しています。家では決まった場所に片づけてある荷物も、舎営では、自分のリュックの中に自分でしまっておかないといけません。また、時間に追われるので、自分でどこにしまっておくのが良いかを考えておかないと、皆に後れを取ってしまいます。「自分のことは自分でします」のむずかしさを体感する瞬間です。

シカ(4年)スカウトは、去年のことを思い出しながら、自分のことをやります。また、少しお兄さんなので、うさぎの面倒をみてあげる任務も出てきます。「おさないものをいたわります」を実践しないと・・・でもなかなかできないです。

くまスカウトは、自分のことはだんだんできてきます。加えて組のリーダーとして行動しないといけません。最初、組のメンバーはなかなかいいことを聞いてくれないでしょう。くまスカウトは経験を通じて、だんだんと、「どうすれば組のみんが動いてくれるか」を体感で覚えていきます。

リーダーは、それぞれの年でおかれた環境を考えつつ、任務・役割、ノウハウを学ぶことができるよう、プログラムを作っています。それがつまらないものだと飽きてしまうし、楽しく元気に活動できるよう、考えて、いろんなことを繰り返し出します。

今回の仮キャンプでは、先生として宮さんのお母さんと名古屋さんのお父さんをお迎えして「浅川での釣り」あぶらはやが大漁に釣れた〜、調理の基本勉強〜森の中から材料カードを探してきて、カレーライスづくり、夜の暗闇を利用したゲーム「殺人光線」、クラフト:「マイ箸」づくりなど楽しいプログラム満載でした。

楽しいプログラムをこなすには時間を守らなければいけない、時間を守るには、それぞれのスカウトが任務をこなさなければならない・・・ということで、6月としては記録的な暑さの中でしたが、楽しく「舎営の基本」を学ぶことができたと思います。

楽しいプログラムは、保護者・育成会の協力の上に成り立っています。プログラムのアイデアから実行の協力まで、今後とも一緒にスカウトを育てていきたいと思います。

※夏キャンプは7/25~7/28
長野県茅野市少年自然の森にて行われます

ボーイ隊、夏キャンプにむけて

ボーイ隊長 田中 輝

- 5月11日 工作
- 5月18日 皐月祭・班キャンプ計画
- 5月24~25日 隊キャンプ
- 6月7~8日 班キャンプ
- 6月8日 デイキャンプ
- 6月15日 デイキャンプ
- 6月22日 デイキャンプ
- 6月28~29日 隊キャンプ

ボーイ隊の5月~6月のプログラム内容です。ボーイ隊では夏前になるとキャンパー色のプログラムに変わってきます。ボーイ隊はカブ隊のキャンプとは違い舎営(屋内で寝泊まり)ではなくテント・食堂フライを張ってかまどを作って汚水穴を掘って(最低限しか書いていませんが)食事を作り寝泊まりをします。これはカブ隊でやってきたことの内容とは大きく違っていると思います。

約100年前の1907年ボーイスカウトの創設者ベーデンパウエルは子どもの教育に関心を持ちイギリスのブラウンシー島というところで自身の体験をもとにキャンプを通じて将来社会に役立つ人間に成長することを願い、20人の子どもたちとともに実験キャンプを行ったことが始まりだそうです。

このような野外活動は好奇心や自然観察、集団での協調性リーダーシップを養い、これが現在のボーイ隊のキャンプ、そして日々の活動に引き継がれているのだと思います。

ボーイ隊は夏キャンプを集大成として一年間活動をしてきました。夏キャンプでは様々な体験や経験をできるように訓練を重ねてきました。6月はいろんな料理を作って夏キャンプに美味しい料理を作れるよう訓練を重ねます。

夏のキャンプに向けて残り2か月楽しい、そして充実した活動をしていきたいと思います。

「目的」と「目標」

ベンチャー隊長 西原 睦

ゴールデン・ウイーク前半でウッドパッチ研修所VS課程に行ってきました。

東京連盟に所属する多くの指導者達と共に、BS活動の基本を再確認し、モチベーションを新たにすることができました。その中で印象に残った事の一つを紹介します。

それは「目的」と「目標」です。なでしこジャパンの澤選手は、女子サッカーをメジャー・スポーツにすることを「目的」として、ワールドカップやオリンピックなどの国際大会での優勝を「目標」としているとお話がありました。「目的」、「目標」が意味するところが良くわかる説明だったと思います。

ところで、BS運動の究極の目的は、「良き社会人を育成すること」です。日本連盟が定める教育規程には、ボーイスカウト運動の教育の目的が次のように書かれています。

本連盟は、ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践できるような教育することをもって教育の目的とする。

いくつかのキーワードが出てきますね。自発活動、健康、社会奉仕、人生に役立つ技能、体得、誠実、勇気、自信、国際愛、人道主義、実践。BS運動は、良き社会人を育成するために、これらのキーワードが意味する要素を年代に応じたプログラムでスカウトを教育するものです。各隊はこれらの要素を「目標」として個々のプログラムを展開しています。

今回はちょっと固いお話になってしまいましたが、自分自身の再確認と反省も込めて敢えて書かせていただきました。

保護者の皆様にはひとつお願いがあります。スカウトが活動から帰って「今日こんなことしたよ」って言ったら、「こんなこと」の裏にある個々の「目標」を想像してみてください。

我々指導者がプログラムに込めた思いが伝われば幸いです。

ボーイスカウトの1級

ビーバー隊長 石塚 武司

進級章の色で実力はどの位?一般と比べてみませぬ。ボーイスカウトの中で学年が上がって、ドンドン課題をクリアして行くと、章の色が変わったり動物が変わったり。カブだとクリア賞かな。どんな具合かと言うと・・・

- ボーイスカウトは
- ①ビーバー隊
ビーバー⇒ビッグビーバー
- ②カブ隊
リス(見習い)⇒ウサギ⇒シカ⇒クマ⇒月の輪
- ③ボーイ隊
見習いスカウト⇒初級⇒2級⇒1級⇒菊
- ④ベンチャー
ハヤブサ⇒富士

大体こんな流れ。で、どのレベルがどの位?ん・・・。空手、剣道、柔道と言う初段がボーイスカウトだとズバリ1級ですね。

僕自身も打撃系格闘技は5年ほどやってましたが、プロライセンスレベル=各種格闘技初段=ボーイスカウトの1級。でも、1番取りづらいのは間違いなくボーイスカウトの1級だと思う。何せ時間が掛かりますね。めんどくさいし色々つきつい。7、8年位かかっている。最初からやっているとさすがね。格闘技類の初段(黒帯)は1年もやったら取れちゃうひとも居るでしょう。そのくらい1級って色々な面で重い大変です。

僕らの団の指導者は、1級資格がないと思うスカウトを見ると物凄く他の団のスカウトでも容赦無く怒ります。

理由は上記でわかりますよね。黒帯=1級章なので。そこで何が言いたいかと言うと1級をカブ隊やビーバー隊の子供たちは目指して欲しいのです。そこで一先ずは第一目標。これは体力、知力、精神力・・・キツイですよ。

でもですね、1級はあくまでも基本が終わっただけです。そこから各人のスタイルが出てきてもいいと思う実力に入ります。ボクサーならインファイター、アウトボクサー?剣道なら・・・柔道なら・・・ボーイスカウトなら?と、まあ、こんな感じですね。

何となく伝われば幸いです。



釣れたぞー!!
キャンプと言えばカレーでしょ!!



ベンチャー隊・ローバー隊の
チームワーク
— 北八ヶ岳 春山登山訓練 —

3月末に行われた北八ヶ岳春山訓練、通称は北八。ここ数年の北八のメインテーマは「友情」に関するものを取り扱っています。

今回も例年に漏れずテーマは「愛」、すなわち仲間を思いやる心です。スカウトのおきての一つ、「スカウトは友情にあつい」にも通ずるこのテーマ。背景にあるのは、北八が非日常かつ不便利な雪山での活動であり、本来仲間であるはずのスカウト間に、いがみ合いやぶつかり合いが多かったという事。しかし、長き時を共にしてきた仲間のあいだには、これら二者間での「合い」を乗り

越える「愛」があるはず。これを北八で再確認し、辛い時でも仲間と助け合えるような友愛を発掘する、ということからこのテーマを掲げていました。

今回の北八は参加人数が少なく、スカウト全員が動き回る忙しない状況でしたが、その環境であるからこそチームワークと協力が重点となり、お互いの思いやりを十分に発揮できました。また、今年の北八においては少人数故か、スカウト・指導者間の距離が近く、密度の濃い活動となりました。同世代間での友好を意識する例年に比べ、異世代間での友情を深められたことは、とても有意義なことだと思います。

北八を終え、顧みると、テーマへの実践が強く反映された活動になったのではないかと感じます。「スカウトは友情に厚い」という掟を、先輩後輩指導者というスカウト仲間皆で共有し、実践できた。そう言えることが、今北八の獲得であり、胸を張れることだと思います。

ローバー隊 甲野慎太郎



食事風景 (心も身体も温まる癒しの時間。鍋に感謝を)



東天狗岳から(雄大な景色を一望。雨の影響で例年よりも雪は少なめ)

特集

TEAMWORK

チームワーク抜群の各隊に聞きました!

●ボーイ隊(ホワイトベア一班)
質問: 班のよいところは?



●ビーバー隊
質問: 一番好きな活動は?



●カブ隊(2班)
質問: キャンプで何をします?



●ボーイ隊(ウルフ班)
質問: 班のよいところは?



●ボーイ隊(ウルフ班)
質問: キャンプで何が楽しみ?



●カブ隊(1班)
質問: キャンプで何が楽しみ?

